

【エイワのブログ】印刷のプロ、永和印刷がサービス・技術の紹介や業界事情など最新の情報を発信していきます。印刷(Printing)のログ(Log)だからプログ(Prog)。PとRにはProfessionalとかProductといった意味も(単にPR誌だからという声も?)。第7号ではお客様にご協力いただき、弊社で実際に印刷した「作品」をご紹介します。印刷物はおお客様の注文がなくてはじめて製作に取りかかることができますが、永和印刷ではお客様の伝えたいことを「もっと、伝えます——」。

2010年11月1日発行 vol.7 11月号

もっと、伝えます——永和印刷株式会社

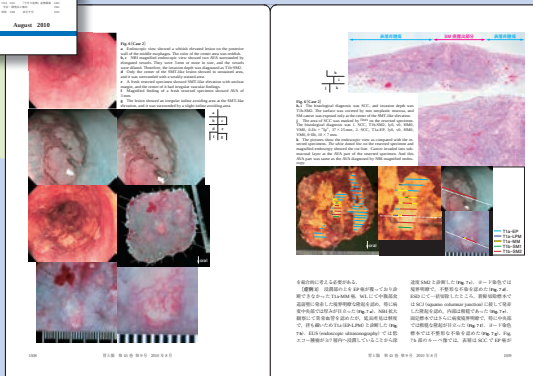
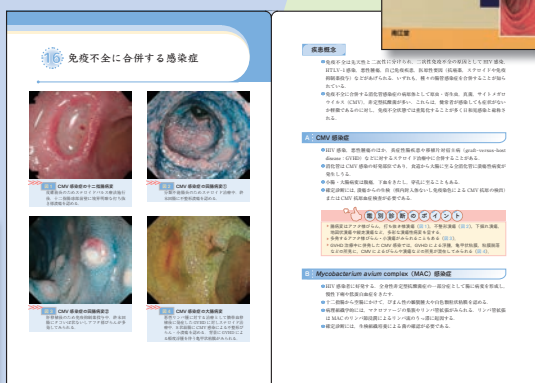
TOPICS NewProducts

今回の New Products はズバリそのもの。
印刷物をまとめてご紹介いたします!!

医学専門書籍カラー印刷

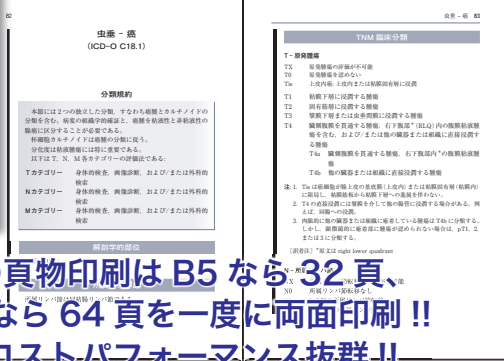
医学専門書籍カラー印刷では
細部の微妙な変化を再現!!

内容まで踏み込んだ編集、
和欧混在・複雑な指定の組版も
おまかせください!!



商業系カラー印刷

商業系カラー印刷では
品質プラス加工の技術、
スピードも自慢です!!



単色・2色の真物印刷はB5なら32頁、
B6・四六判なら64頁を一度に両面印刷!!
スピード & コストパフォーマンス抜群!!

4/6 全版1色・2色印刷

今回掲載のご許可をいただいた関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

FAX申込書

永和印刷では現在「編集お試し無料キャンペーン」「印刷工場見学会」を開催しております。
また、上記の印刷物等でご興味を持っていただいた方へのご説明、お見積りも受け付けております。
今すぐご連絡ください!!

下記に○印と必要事項をご記入のうえ、弊社宛にFAXを送信してください(お電話・E-mailからも可能です)。

- ・編集サンプル作成希望
- ・印刷工場見学会(DTP・印刷)希望
- ・お見積り希望
- ・営業員訪問希望

ご希望の日時 月 日 時

御社名

担当者氏名

ご連絡先

TEL 03-3813-5001
FAX 03-3813-5005
E-mail mail@eiwa-p.com

永和の



印刷会社にはさまざまな仕事をする人がいます。
このコーナーでは弊社従業員のひととなりと仕事の内容をご紹介します。



印刷機にあわせたサイズに用紙を断裁

伊藤 義秀 (いとう よしひで)

担当業務 断裁・四六全2色両面機のサポート

印刷機と一口に言ってもその用途によって仕様・規格はさまざまです。私の仕事は社内の印刷機にあわせて用紙を断裁することです。B5のカラーの書籍の印刷なら菊全4色機を使うので、B判の用紙を半分に(半裁)、A4の小数数のチラシの印刷なら菊半4色機を使用するので、菊全判の用紙を半分に断裁します。四六全2色両面機の場合は断裁は必要ありませんが、印刷機に紙をセットする必要があり、常日頃、紙と接しています。

編集室の独り言

最近、また怒っている。“いつものことだろう”と言われそうだけど。

何をと言えば、テレビの下に出る“地デジ”の広告というのか、早く対処しろという脅迫まがいの代物。

誰が地デジにしてくれと頼んだ?

次が3Dテレビに、関連商品なのかカメラのコマーシャル。

最早売るのがないからって、格別必要でもないものを押しつけるなっつうの。

この3Dにしろ、地デジにしろ、それだけの価値があるもの、観るに値するものがあるのか? 3Dでバカタレントのクイズ番組だの、バラエティだの観て何が面白いものか!

ここから大きく跳んで、昨今の書籍の体裁(造本)である。見苦しいくらいに罫やらフォント(10書体以上も使っている本を最近見かけた)やら多色刷りに加えてイラストカットで飾り立てられている。デザインなどと称しているから何をか言わん。また、フォントという表現も気に入らない。書体と言え、書体と。

これに加担しているのが“4段階ぐらいの見出しを作ってみてよ”と言われて、目次立ても内容もわからないのに、平気ででっちあげるデザイナーども。依頼するほうもほうだが、やっつきのける輩も輩である。

書籍というのは、シンプルで落ち着いた組ほど、品格があるものである。

飾り立てるのは、もういいかげんやめたらどうか! 飾りたてたからといって売れるわけでもないのだから。

永和印刷編集子

担当者はこんな人



久永 康彦

「利点」→「必要」
>「負の因子」

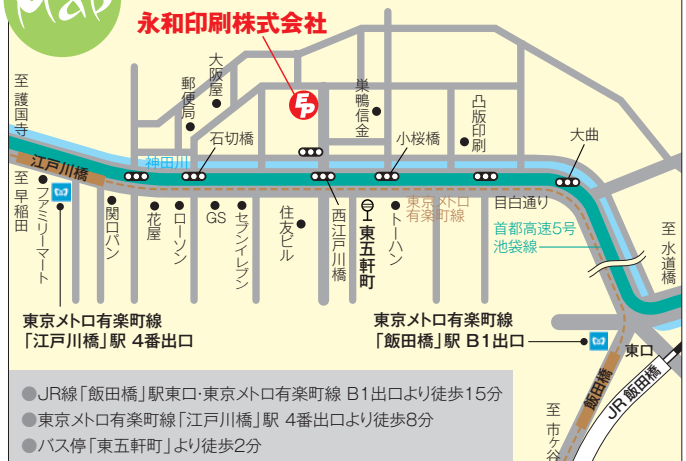
車や飛行機は、ヒトやモノの迅速な移動を私達にもたらし、今から欠くことはもちろんその代替もきかない存在といえます。これはその巨大なメリットが、ついて回った交通戦争・公害・健康と人命のリスクといった負の要因を遙かに凌駕したからこそ、普及と定着に至ったのだと思います。よって技術革新は、そのメリットが旧来の技術を上回るだけではなく、負の要因を圧倒するほど巨大で、かつそれにより「絶対的に必要」にならなければ普及と定着に至らないと考えます。電子書籍の成長に、注目です。



小材 健

入社からすでに13年が経ちましたが、毎年この時期になると再会(増刷)するお仕事があります。変わらないものもあれば、内容・装丁・進行方法を変えて続いているものもあります。入社当時の私は先輩の手伝いで版下の台紙貼りやフィルムの換版をやっていました。活版もちよびり残っていました。どおりでオヤジになっているわけです。以前からのお仕事に育てられ、New Productsにある新しい仕事が進みになっています。まだまだ太って…いやいや、成長中です!!

MAP



お客様への新しい提案に進化する永和印刷へ足を運んでみませんか?弊社ではお客様の製造現場として、随時ご来社を歓迎しております。お気軽に担当営業員までどうぞ!

●お詫び●

2010年8月1日発行のvol.6(8月号)におきまして、弊社「編集室」紹介の記事中で実際は受注していない原稿を許可なく校正グラ例として使用しましたこと、関係各位にご迷惑をお掛けし深くお詫び申し上げます。

編集後記

欲張りな性分なので、特集ご紹介したい「作品」はたくさんありました。が、「伝えます!!」と宣言しているくせに、ごった煮で何も伝わらなくては本末転倒ということに泣く泣く4点で特徴をまとめてみました。打合せ中、「担当者の家族愛はとても伝わる」なんて話もありましたが(汗)、仕事愛(熱)ももっと伝えます!?

(KK)

Prog
Printing Professional Log by EIWA

【エイワのブログ】

2010年11月1日発行 vol.7 2010.November

永和印刷株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道2-4-23
TEL. 03-3813-5001 FAX. 03-3813-5005
E-mail (営業部) mail@eiwa-p.com
(DTP事業部) dtp@eiwa-p.com

http://www.eiwa-p.com

次号は2011年1月5日発行予定です。